

2023/10/25 (水)
インターネット世界旅行

カンボジア

カンボジアは、美しい寺院、歴史的な遺産、美しいビーチ、そして文化的な魅力を提供する東南アジアの国

1. アンコール遺跡
2. プノンペン
3. アンコールトム
4. シアヌークビル

首都

アンコール近くの小さな町

美しいビーチとリゾート地

カンボジア - Google マップ



カンボジアの観光

- アンコール遺跡: カンボジア最大の観光名所
 - アンコール・ワットなど壮大なヒンドゥー寺院が見どころ。
- プノンペン: 首都
 - 王宮や銀座寺、トゥール・スレン博物館がある。
- シアヌークビル: 南部の美しいビーチリゾート
 - リラックスや水遊びが楽しめる。
- カンボジア料理: 新鮮な食材を使った美味しい料理
 - ストリートフードも楽しめる。
- カンボジア文化: 伝統的なダンスや音楽、アプサラ舞踏など
 - 文化を体験できる。

カンボジアの歴史

- 古代からアンコール時代：カンボジアは古代から存在し、アンコール時代で文化的な栄光を享受。
- フランス植民地時代：19世紀末にフランスに植民地化される。
- クメール・ルージュ支配：1975年にクメール・ルージュが政権を掌握し、大虐殺が発生。
- ベトナム侵攻と和平：1979年にベトナムが介入し、1991年の和平協定で国際的な和平プロセスが始まる。
- 現代：1993年に選挙で成立した立憲君主国として復興を試み、経済成長が進行中。

クメール・ルージュ支配（1975-1979）

- **権力掌握**：クメール・ルージュは1975年にカンボジアの首都、フナムペンを占拠し、ポル・ポトが指導者となった。
- **大虐殺**：クメール・ルージュ政権下で約200万人が虐殺され、国内の都市が過酷な条件下で労働させられた。知識人や都市住民が特に標的とされた。
- **過酷な政策**：ポル・ポト政権は共産主義のイデオロギーに基づき、農村への強制移住、文化や宗教の抑圧、都市の排除など過酷な政策を実施した。
- **ベトナム介入**：1979年、ベトナムがクメール・ルージュを打倒し、カンボジアに介入。これによりクメール・ルージュ政権は崩壊。
- **国際的な非難**：クメール・ルージュの犯罪は国際的に非難され、カンボジアは長期にわたる内戦と政治的な混乱の時期に入る。

カンボジアの気候

- 熱帯モンスーン気候：カンボジアは熱帯モンスーン気候に属し、一般的に高温多湿です。気温は一年中高めで、湿度が高い地域です。
- 乾季と雨季：カンボジアの気候は乾季と雨季の2つの明確な季節に分かれます。乾季は11月から4月までで、雨季は5月から10月まで続きます。
- 乾季の特徴：乾季は涼しく乾燥し、特に12月から2月は過ごしやすく快適な気候です。この時期にはほとんど雨が降らず、観光に適しています。
- 雨季の特徴：雨季は雨が頻繁に降り、特に6月から9月にかけて豪雨があることがあります。この季節には洪水のリスクが高まり、一部の地域では交通が困難になることがあります。
- 湖と川の影響：メコン川とトンレサップ湖などの水域がカンボジアの気候に影響を与え、雨季には洪水が起こることがあります。これらの水域は農業に不可欠であり、水田の灌漑に利用されます。

カンボジアの経済

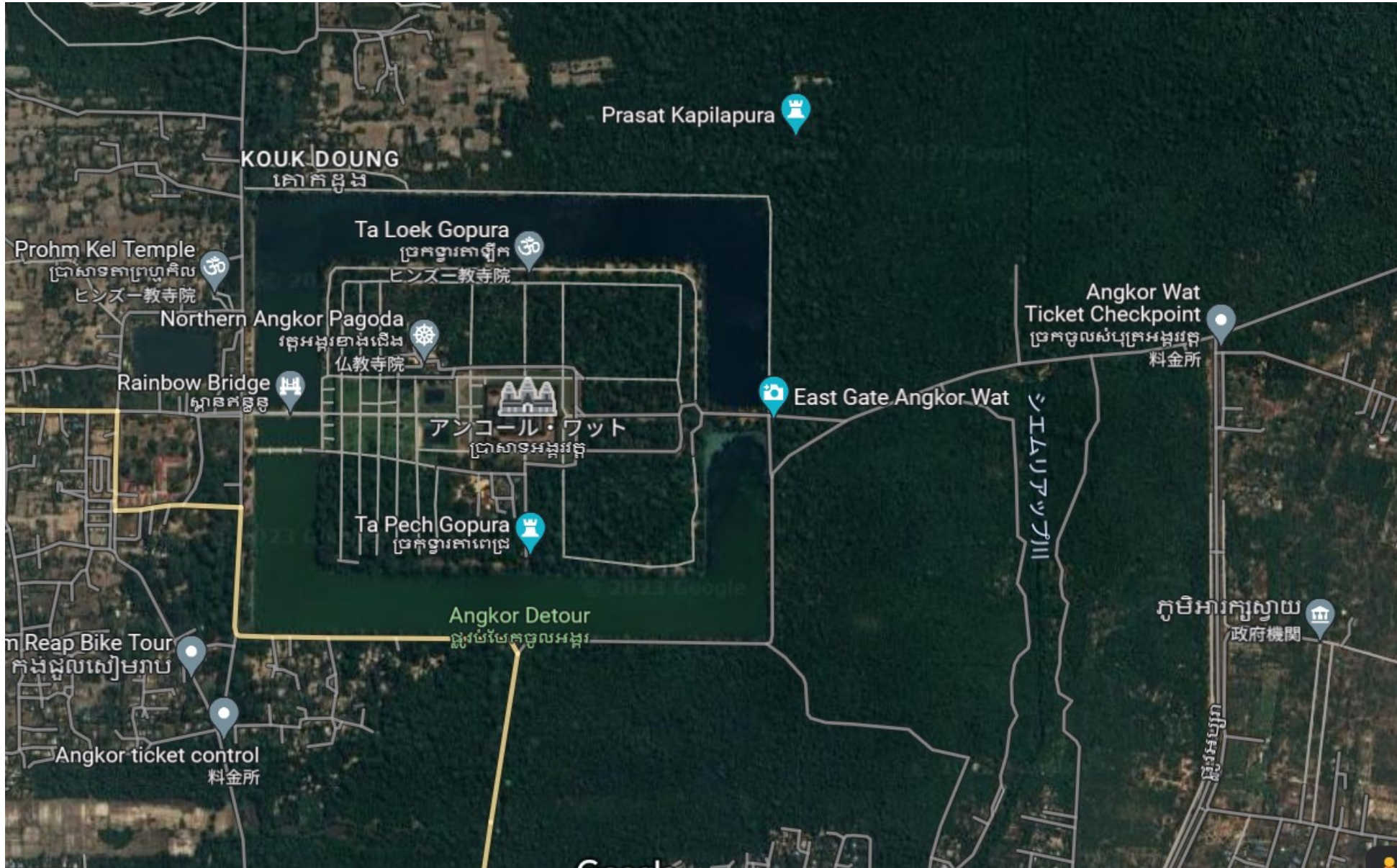
- 農業主体の経済：カンボジアの経済は主に農業に依存しており、農産物の生産と加工が国内総生産の大部分を占めています。主要な農産物には米、ゴム、カシューナッツ、コーヒーが含まれます。
- 衣料品産業と輸出：近年、衣料品産業が急成長し、カンボジアの主要な輸出産業となりました。多くの国際的なファッションブランドが生産拠点としてカンボジアを選んでおり、外国からの対外貿易に貢献しています。
- 観光業の成長：カンボジアはアンコール遺跡などの観光名所で知られ、観光業が急成長しています。外国からの観光客が増加し、国内経済に大きな影響を与えています。
- 外国直接投資（FDI）：カンボジアは外国からの直接投資を促進し、特に製造業や不動産開発分野においてFDIが増加しています。これにより経済成長が推進されています。
- 雇用と貧困削減：経済成長は一部の都市部で顕著であり、雇用機会を提供していますが、国内の貧困率は依然として高いです。政府は貧困削減と社会的な包摂に取り組んでいます。

アンコールワット

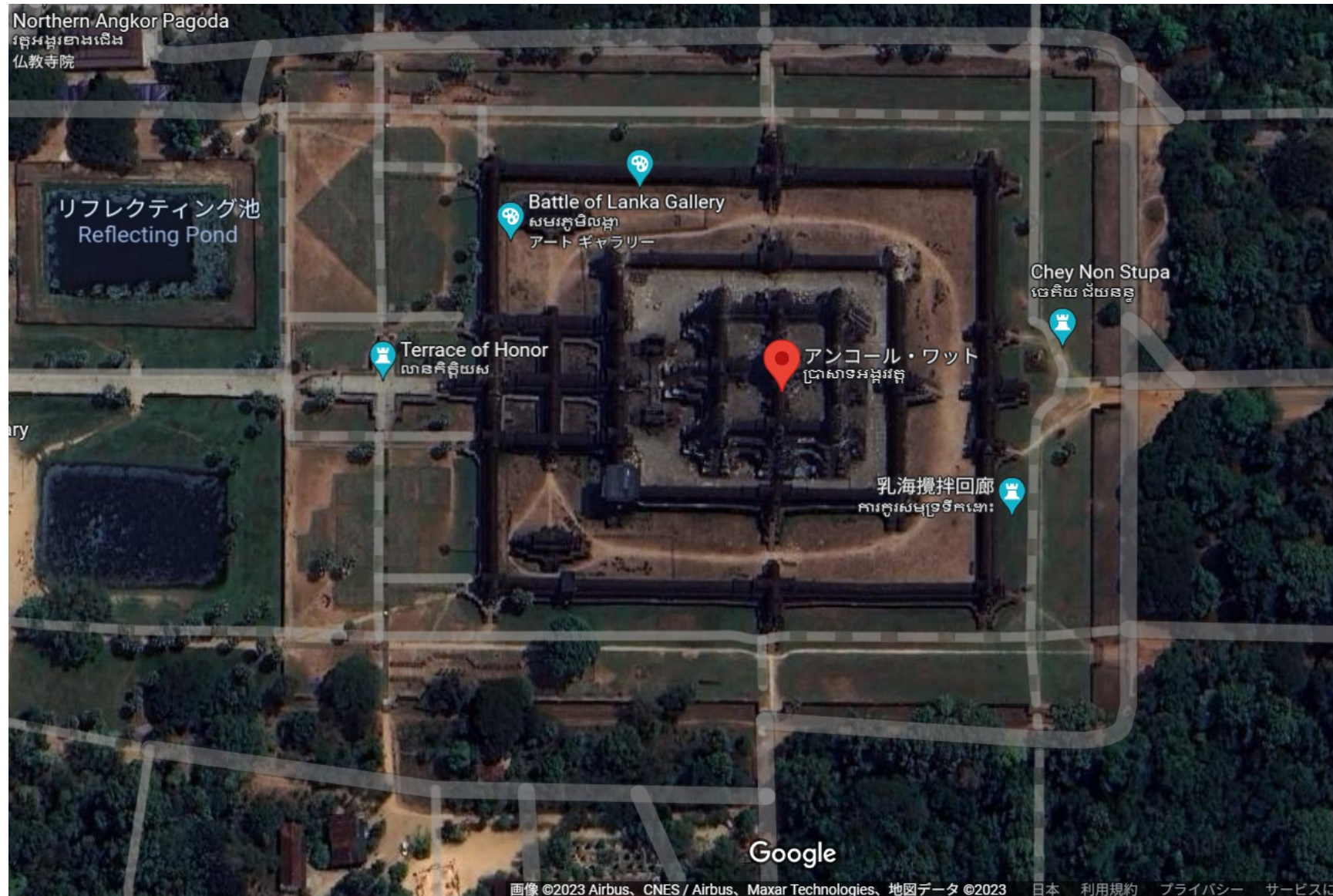
- **世界最大のヒンドゥー寺院**：アンコールワットはカンボジアのシェムリアップに位置し、12世紀に建設されたヒンドゥー寺院です。その壮大な規模と美しさから、世界最大のヒンドゥー寺院として知られています。
- **クメール帝国の象徴**：アンコールワットはクメール帝国の象徴であり、クメール文化の栄光を代表する建造物の一つです。その**複雑な彫刻とアーキテクチャは印象的**で、クメールの宗教的信仰を表現しています。
- **ヒンドゥー教の神殿**：アンコールワットは最初はヒンドゥー教の神ヴィシュヌを祀るために建設されましたが、後に仏教寺院としても利用されました。寺院内にはヴィシュヌや仏教の仏像が多数存在します。
- **アンコール遺跡群の一部**：アンコールワットはアンコール遺跡群の一部であり、広大な遺跡群には数多くの寺院と建造物が含まれています。これらの遺跡は歴史的・文化的な価値が高く、**世界遺産**に登録されています。
- **観光名所**：アンコールワットはカンボジアを代表する観光名所であり、世界中から観光客が訪れます。**日の出や日没の美しい景色**が楽しめ、カンボジアの観光業に重要な貢献をしています。

アンコールワット

[Google マップ](#)



アンコール・ワット - Google マップ





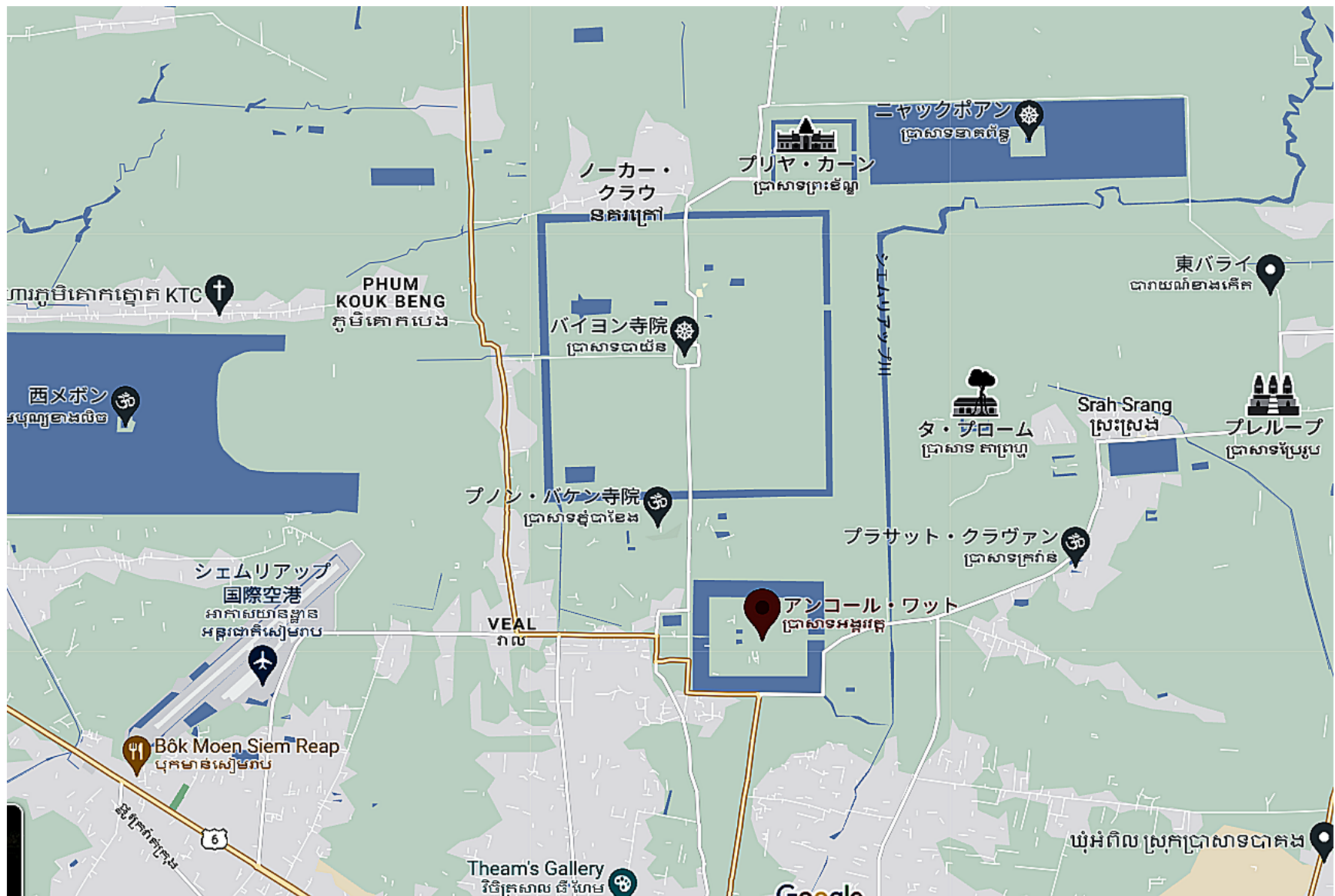


- **アンコールワットはかつて深い緑に埋もれていた**と言われています。9世紀から約600年続いたクメール王朝は、アユタヤ王朝の軍による**侵攻などにより15世紀に衰退が始まり、アンコールワットは放棄**されました。
- その後、カンボジアの首都は南方の新都市プノンペンに移され、アンコールワットは完全に存在を消してしまいます。
- **アンコールワットには、人工の運河や堤防、貯水池などの高度な仕組みがありました**が、強烈な季節風や干ばつに繰り返し襲われてしまい、都市の衰退に繋がってしまったのです。
- 衰退によって、一帯はジャングルに覆われ、都市は深い緑に埋もれていきます。その崩れた塔の間から育った巨木の根が柱や壁に絡みつき、ジャングルと遺跡が一つになり、1800年代にフランス人探検家アンリ・ムーオ氏が発見されるまで密林に覆われていたのです。

世界遺産アンコールワットとは？歴史や見どころ、魅力
などの観光情報を紹介！ | NEWT（ニュート）



アンコールワットは、カンボジアにあるクメール文明が残した神秘的なアンコール遺跡群のうちのひとつです。建築時期は12世紀前半で、ヒンドゥー教の寺院として建立されました。その後16世紀後半に仏教寺院として改修されています。アンコール遺跡群に分類されるアンコールトムやタプローム遺跡なども有名



【TBS世界遺産】 空から見る！アンコール遺跡群【4月16
日午後6時放送】 - YouTube





アンコールワットは、12世紀に古代クメール王朝によって建てられたヒンドゥー教の寺院です。古代クメール王朝とは、9世紀から15世紀まで現在のカンボジア、東南アジアに存在していた王国。その**クメール王朝は王が代替わりするごとに新しい寺院を作っており、アンコールワットもその寺院のひとつ**です。

王が変わるごとに寺院を作っていたのは、ご先祖様を祀るためや、王の権威を示すため、新たな王が即位することを示すためになどさまざまな理由があると言われてい
ます。**中央にそびえる祠堂や外壁や内壁に彫り込まれている精巧な彫刻（レリーフ）**
など、数百年経った現在でも神秘的な美しさにより多くの人を魅了している遺跡です。



アンコールワットが建立されたのは12世紀初頭。クメール王朝の王に即位したスールヤヴァルマン2世により**30年以上の歳月をかけて建立**したと言われています。

アンコールワットの名前の由来は**アンコール＝都市、ワット＝寺**で、その名の通りクメール王朝の王都として栄えます。

当初はヴィシュヌ神を祀るヒンドゥー寺院として建設されましたが、クメール王朝が衰退した後、16世紀には仏教寺院として改修され再び多くの人の信仰の場となりました。





1632年にこの地を訪れ、落書きをした江戸時代の武士がいた。

肥前国の武士である森本右近太夫一房一房がアンコールワットをインドにある仏教の聖地、祇園精舎と勘違いをして残したそう。遠い異国に思いを馳せて家族の幸福を願ったことが落書きからわかっています。

アンコールワットの観光拠点は、都市のシェムリアップ



シェムリアップは、中心部からアンコールワットまではタクシー、トゥクトゥク、バイクタクシーを基本に移動する必要があります。

シェムリアップには格安のゲストハウスから高級5つ星ホテルまでさまざまなホテルが並ぶので、アンコールワット観光の際にも安心です。

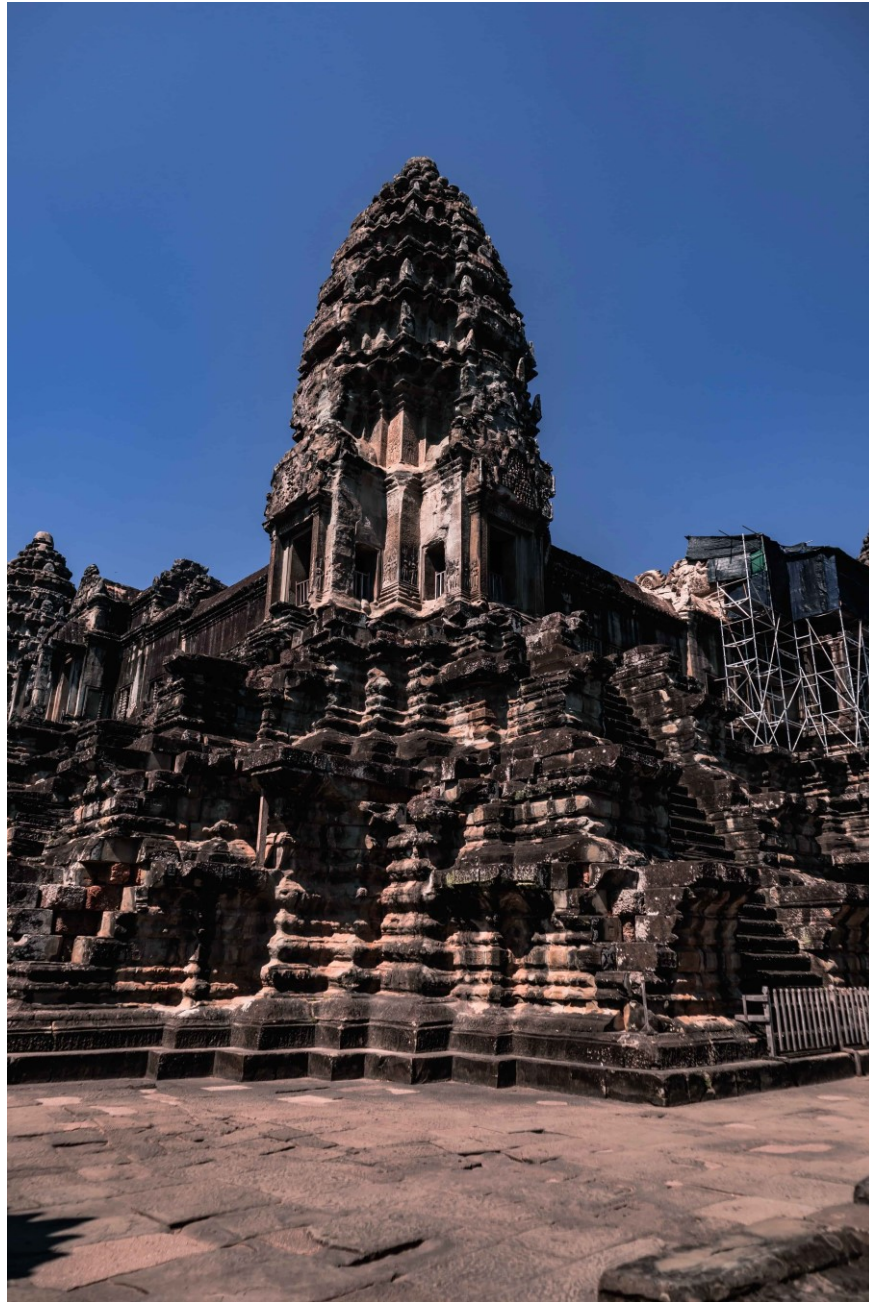
祠堂



アンコールワットで目に入るのが中央に立ちはだかる祠堂です。シンメトリーの整然とした美しさが素晴らしく、アンコールワットに訪れた人を魅了します。



目の前の池に祠堂が映り、上下のシンメトリーとしても楽しめます。
鏡のように映る逆さアンコールワットは定番の人気撮影スポットです。



見どころのひとつに、第三回廊があります。中央神殿がそびえ、緻密なレリーフがみられる、アンコールワットのなかでも特別な場所です。かつては神の降臨の儀式が行われていた神聖な場所です。

第三回廊に登ると、第二回廊、第一回廊とともに、まっすぐと伸びる西塔門まで一望！アンコールワットの壮大な迫力を肌で体感できるおすすめのスポットです。

壁面に描かれたレリーフ



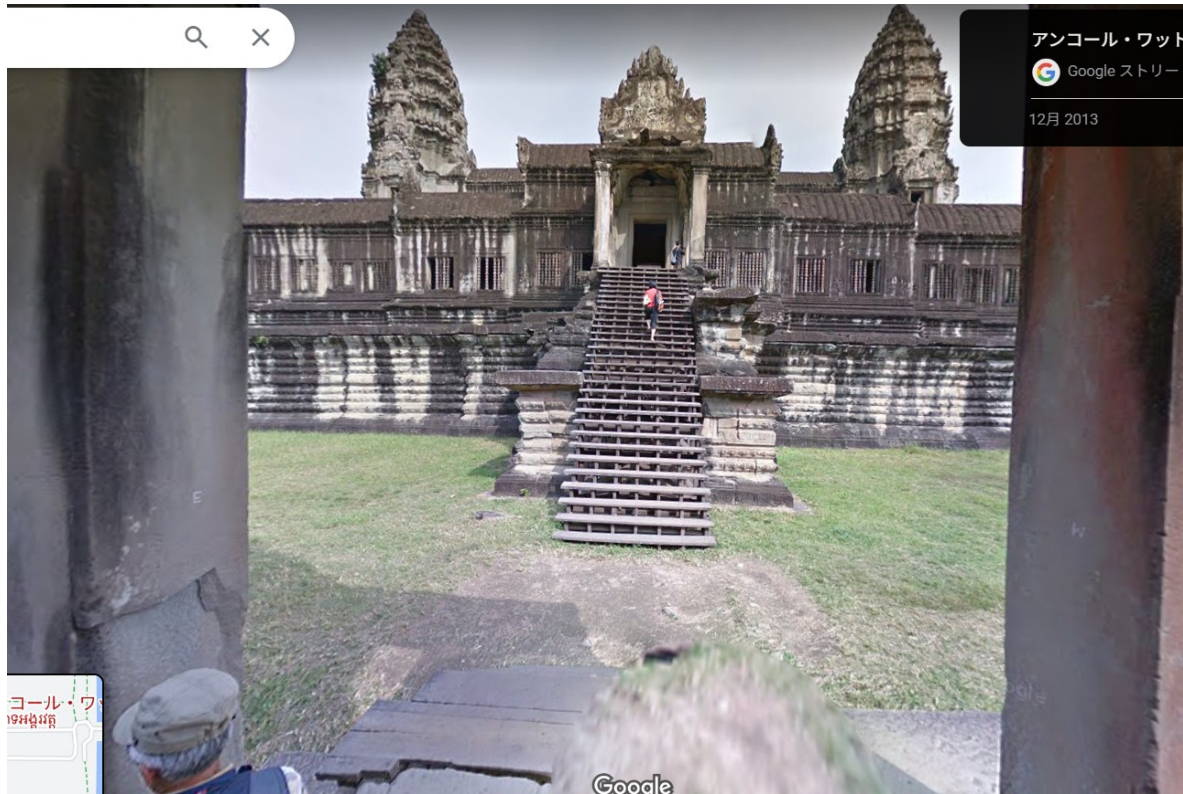
壁画に精密なレリーフ画が描かれています。
レリーフ画とは、平面を浮き立たせるように彫りこむか、平面上に形を盛り上げて肉づけした彫刻のことです。







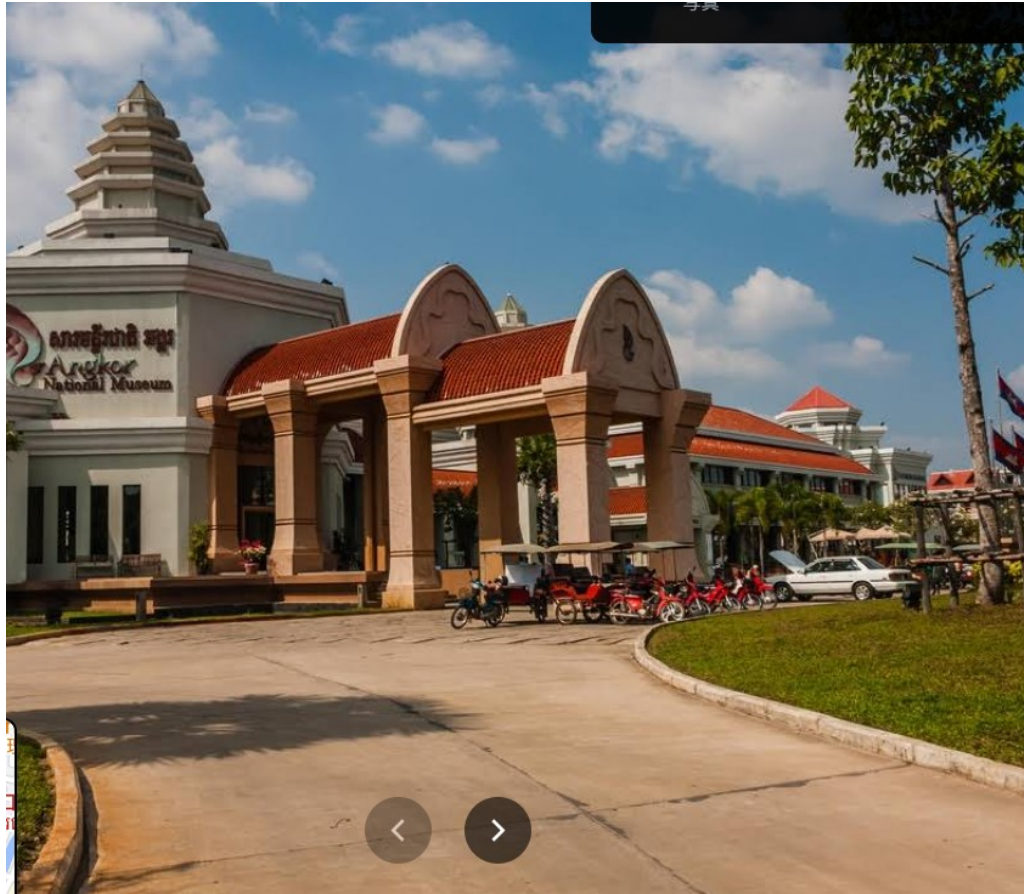
アンコール・ワット - Google マップ



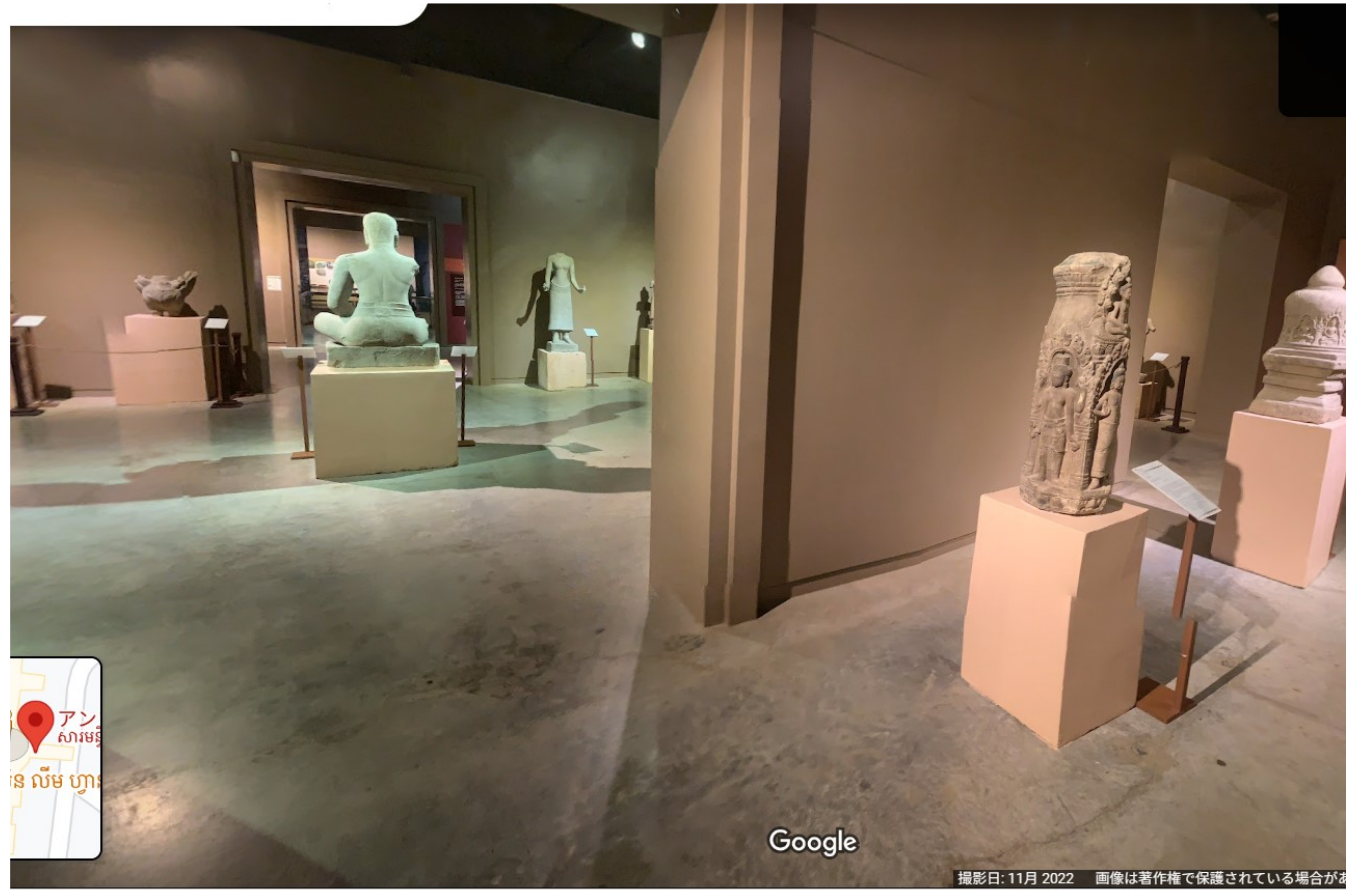
アンコール・ワット - Google マップ



[アンコール国立博物館 - Google マップ](#)

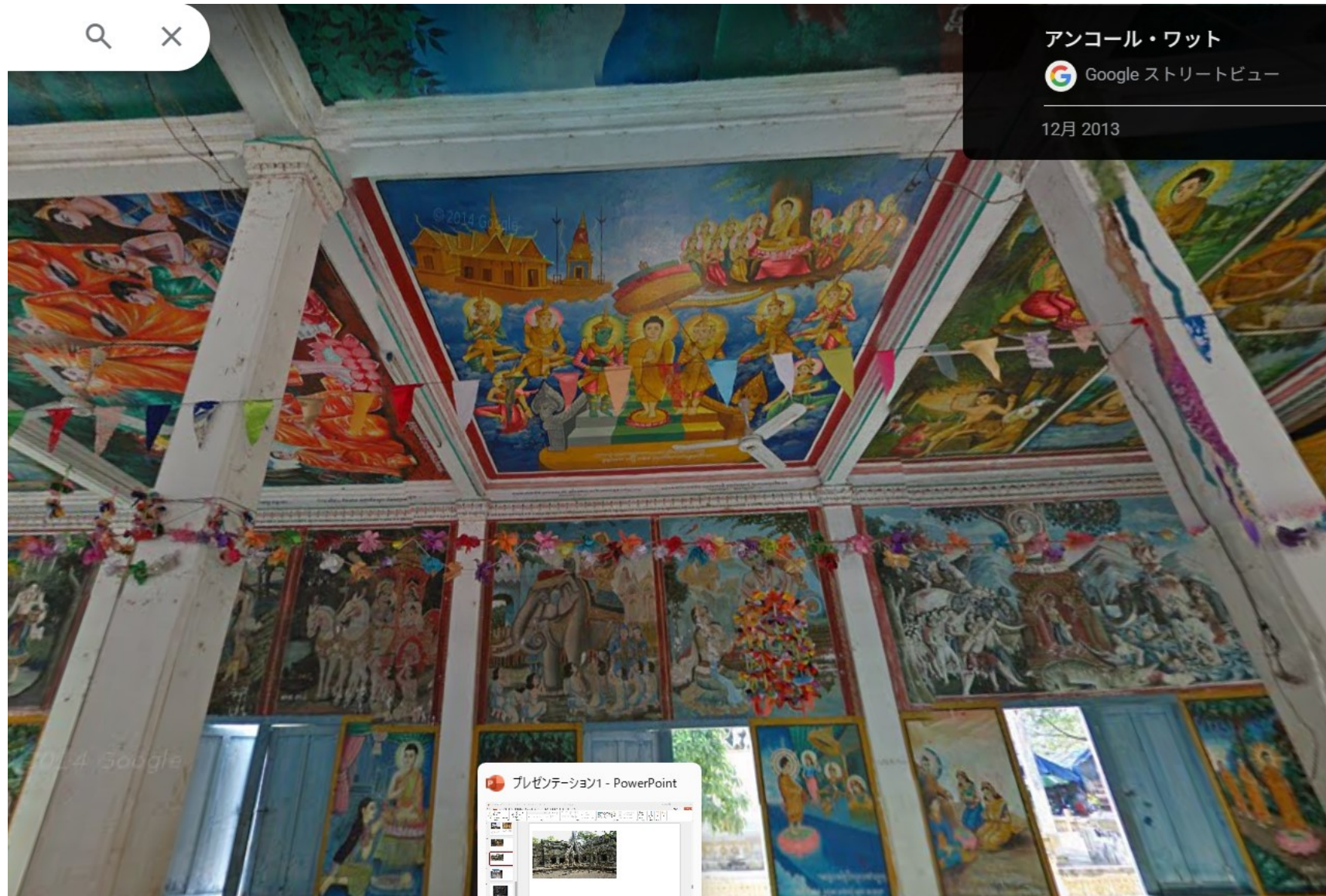


[アンコール国立博物館の見どころ解説！\[Angkor National Museum\] – CAMBODIA NOTE](#)



カンボジアの遺跡で発見された石像や
レリーフなど5000点以上を保管し

アンコール・ワット - Google マップ



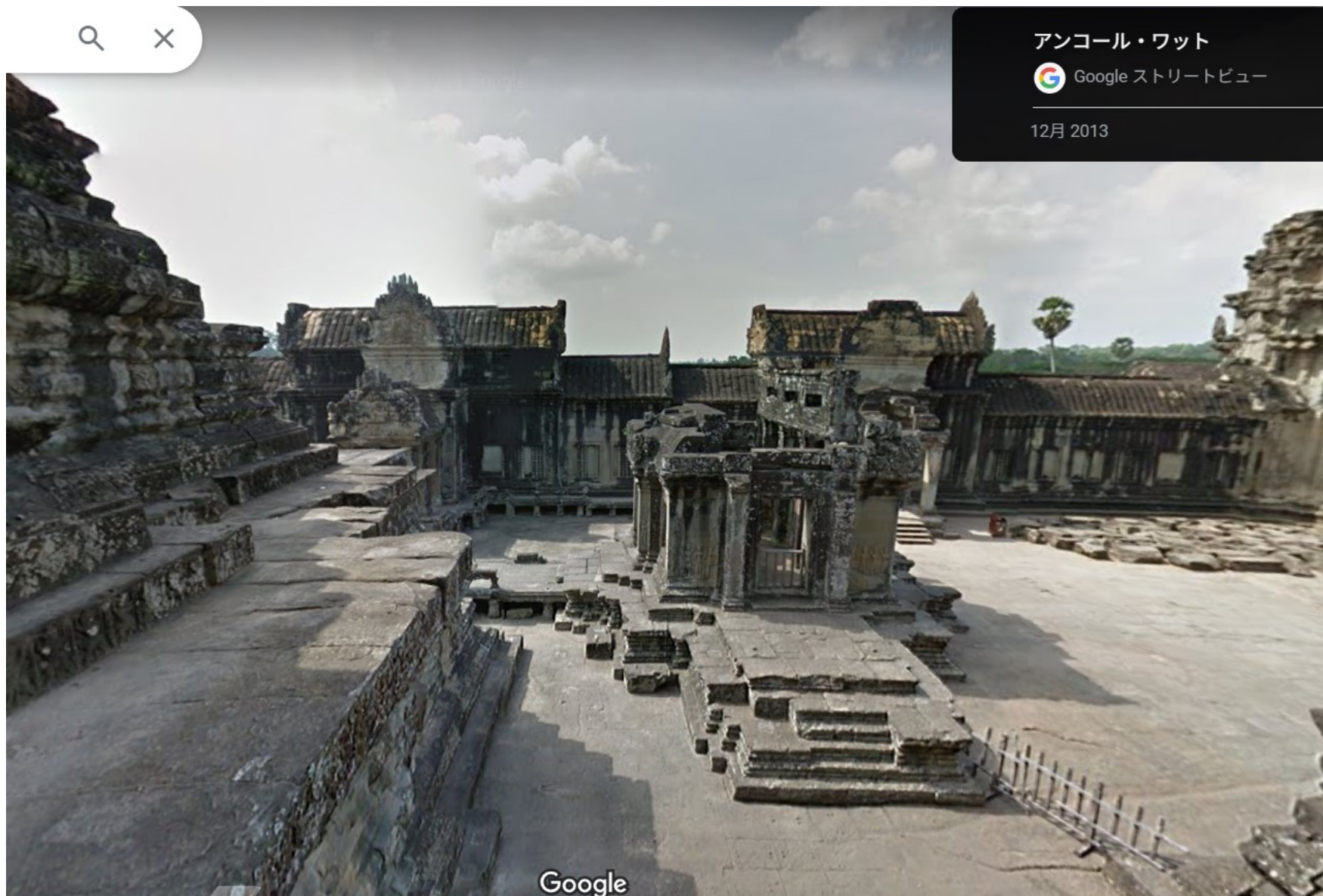
アンコール・ワット - Google マップ



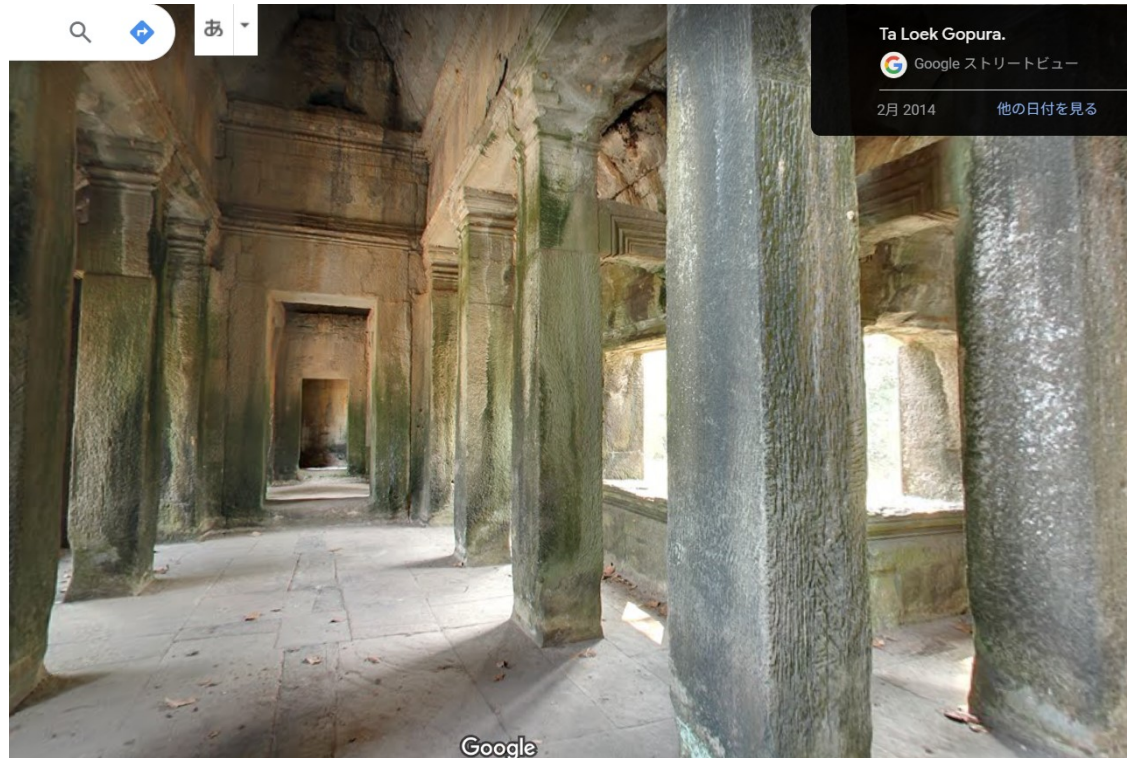
アンコール・ワット - Google マップ



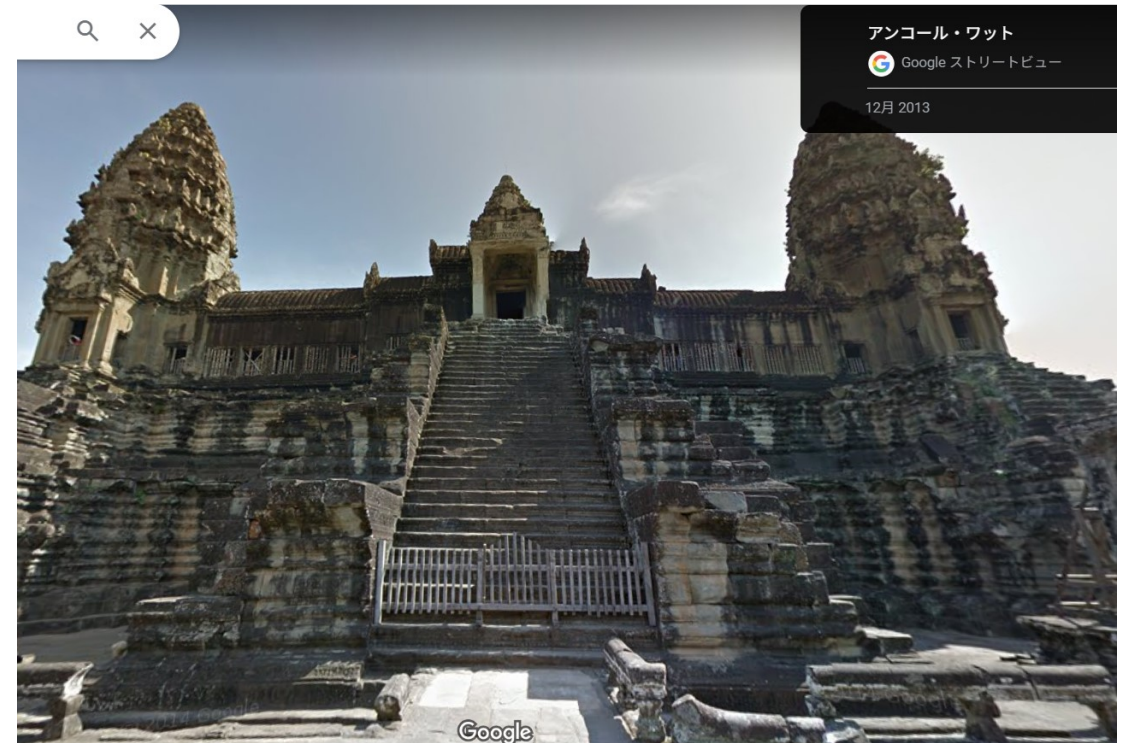
アンコール・ワット - Google マップ



Ta Loek Gopura. - Google マップ



アンコール・ワット - Google マップ



[アンコール王朝を築いた26人の王 | カンボジア遺跡観光
を楽しむための歴史知識 – CAMBODIA NOTE](#)

遺跡観光をもっと楽しむための歴史トリビア

アンコール王朝を築いた 26人の王の軌跡

26 Kings of The Khmer Empire

アンコール王朝 歴代の王

代表的な遺跡

9C

(平安時代)

ヒンドゥー教

802-834 **ジャヤヴァルマン2世** ① アンコール王朝を創設した初代王

ブノン・クーレン



834頃-877 ジャヤヴァルマン3世

877-889 **インドラヴァルマン1世** ③ 旧都ハリハラーヤの礎を築いた実力者

バコン



10C

889-910頃 **ヤショーヴァルマン1世** ④ アンコールの地に遷都

ブノン・バケン



910頃-922 ハルシャヴァルマン1世

922-928 イシャナヴァルマン2世

928-941頃 **ジャヤヴァルマン4世** ⑦ コー・ケーで王位継承

コー・ケー



941頃-944 ハルシャヴァルマン2世

11C

ヒンドゥー教

944-968 **ラージェンドラヴァルマン2世** ⑨ アンコールの地に再遷都

ブレ・ループ



968-1001 ジャヤヴァルマン5世

1001-1002 ウダヤディティヤーヴァルマン1世

1002-1010頃 ジャヤヴィーラヴァルマン1世

1002-1050 **スールヤヴァルマン1世** ⑬ チャオプラヤ川下流までの広域を支配

ブレア・ヴィヒア



1050-1066 ウダヤディティヤーヴァルマン2世

1066-1080 ハルシャヴァルマン3世

(鎌倉時代)

12C

1050-1066 ウダヤディティヤーヴァルマン2世

1066-1080 ハルシャヴァルマン3世

1080-1107 ジャヤヴァルマン6世

1107-1113 ダラニンドラヴァルマン1世

1113-1150 **スールヤヴァルマン2世** ⑮ アンコール・ワットを創建した王

1150頃-1165 ヤシューヴァルマン2世

1165頃-1177 トリブヴァナディティヤーヴァルマン王

ベンメリア



アンコール・ワット



13C

1181-1218 **ジャヤヴァルマン7世** ⑲ ワメール帝国を繁栄に導いた偉大な王

1218-1243 インドラヴァルマン2世

1243-1295 ジャヤヴァルマン8世

1295頃-1307 シュリンドラヴァルマン王

バイヨン



タ・プローム



14C

1307-1327 シュリンドラジャヤヴァルマン王

1327-1353 ジャヤヴァルマンバラメーシュヴァラ王

1431年、アユタヤ王朝（タイ）との戦いによってアンコール・トム陥落。首都をスレイ・リントーに移転。

(室町時代)

15C

王位継承について

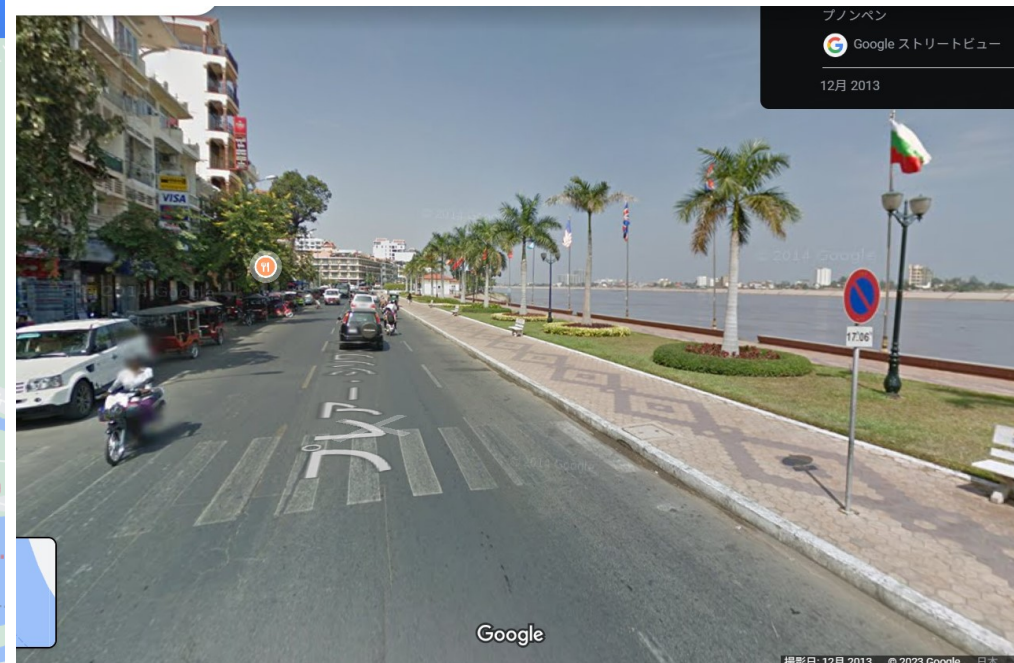
当時のアンコール王朝では、王位は世襲制のものではなく、自ら実力を示すことで獲得する必要がありました。

歴代26人の王のうち、世襲によって王位を継承した王はごく一部です。時には王位をめくって内戦が勃発することもありました。

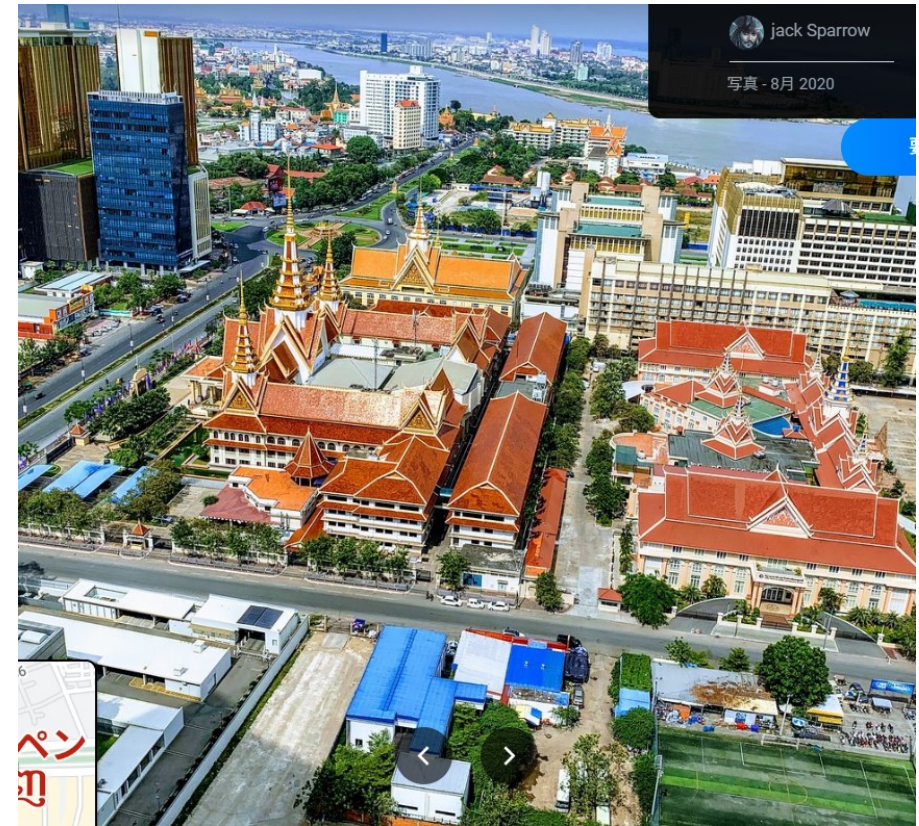
王は即位した後も自身の権威を内外に示す必要があり、そのために王宮・都城・寺院の3つの建設は重要な課題であったと考えられています。

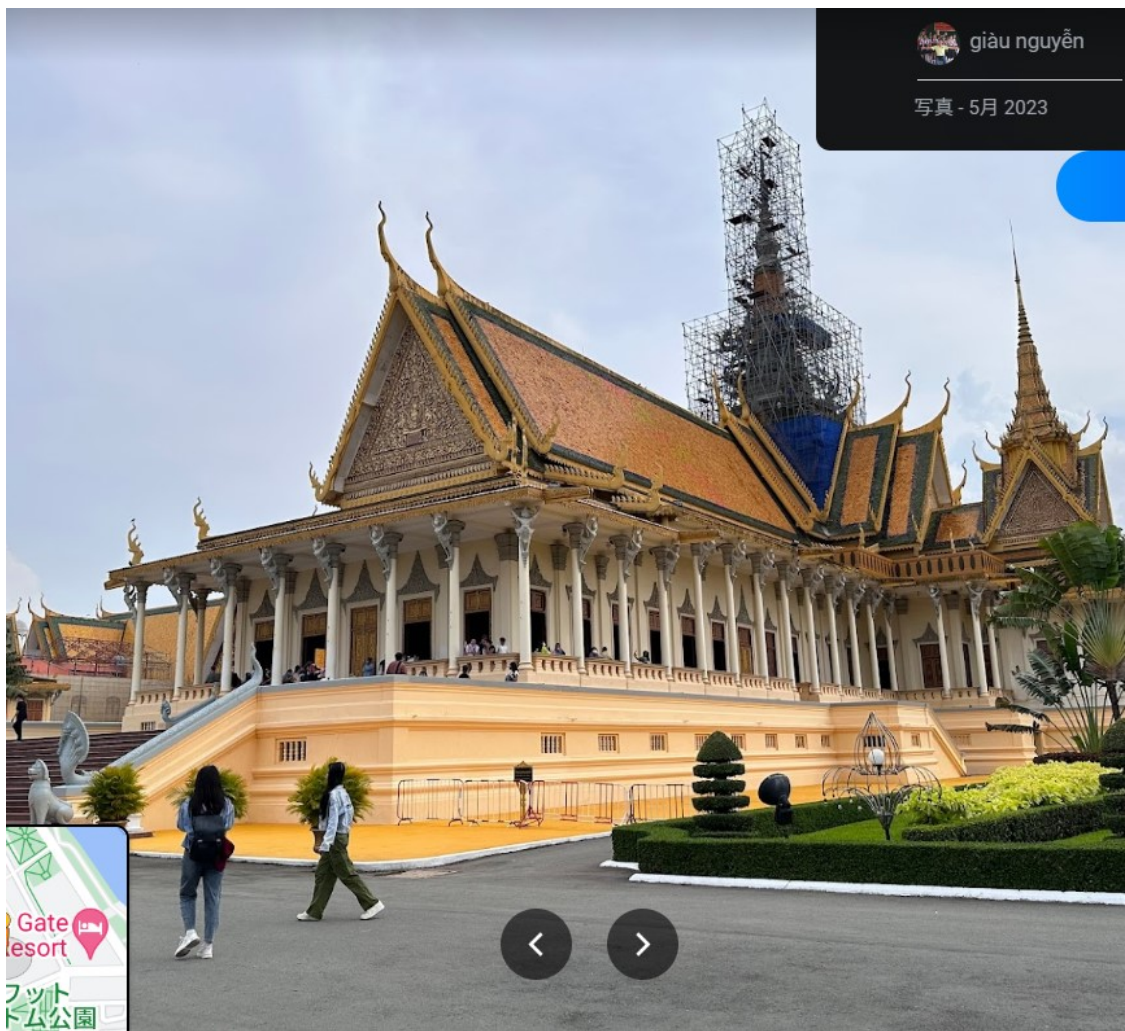
プノンペン - Google マップ

プノンペン



プノンペン - Google マップ





首都 プノンペン

プノンペンの観光

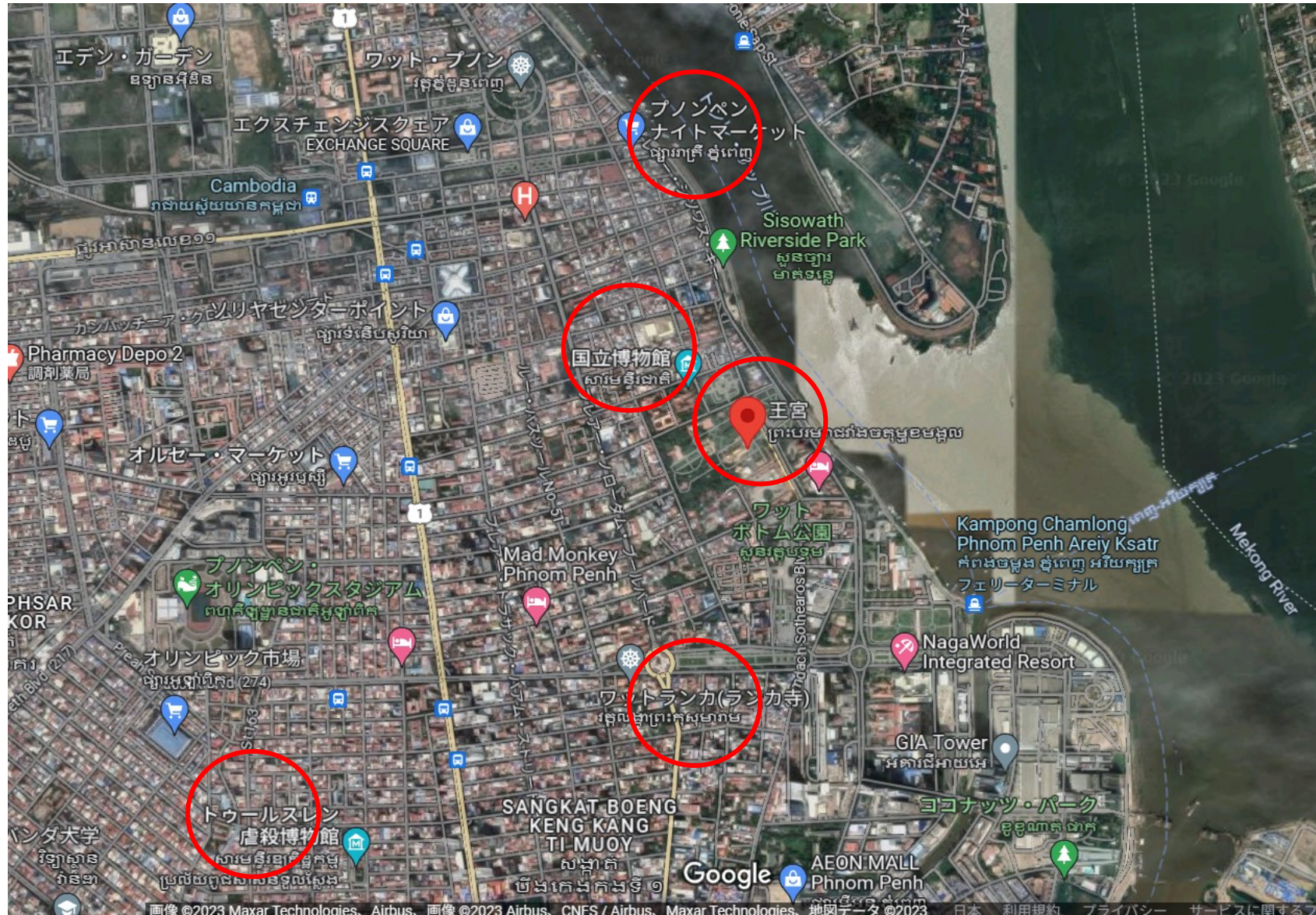
- ロイヤル パレス（王宮）：
 - 美しい建物や庭園で知られ、カンボジアの歴史と文化を探る絶好の場所。シルバーパゴダも訪れる価値があり。
- セントラル マーケット：
 - お土産や伝統的なカンボジアの工芸品、食品などを買うための素晴らしい場所
- キリング フィールズ記念館：
 - 過去の暗黒時代クメール ルージュ政権の犠牲者を追悼するために建てられた博物館で、歴史と人権について学ぶ場所です。

- インデペンデンス モニュメント: 独立記念塔
 - フランスから独立したことを祝って建てられた。夜は美しいライトアップ。
- メコン川クルーズ:
 - 夕日のリバークルーズが特に人気があります。
- ナイト マーケット: プノンペンのナイト マーケット
 - 夜間に活気づく場所で、食品、衣類、アクセサリー、手工芸品などが販売。
- ワト ファル フォン寺院:
 - 美しい寺院が点在しており、その一つです。静かな雰囲気と美しい建築を楽しめる。

王宮 - Google マップ



王宮 - Google マップ



王宮

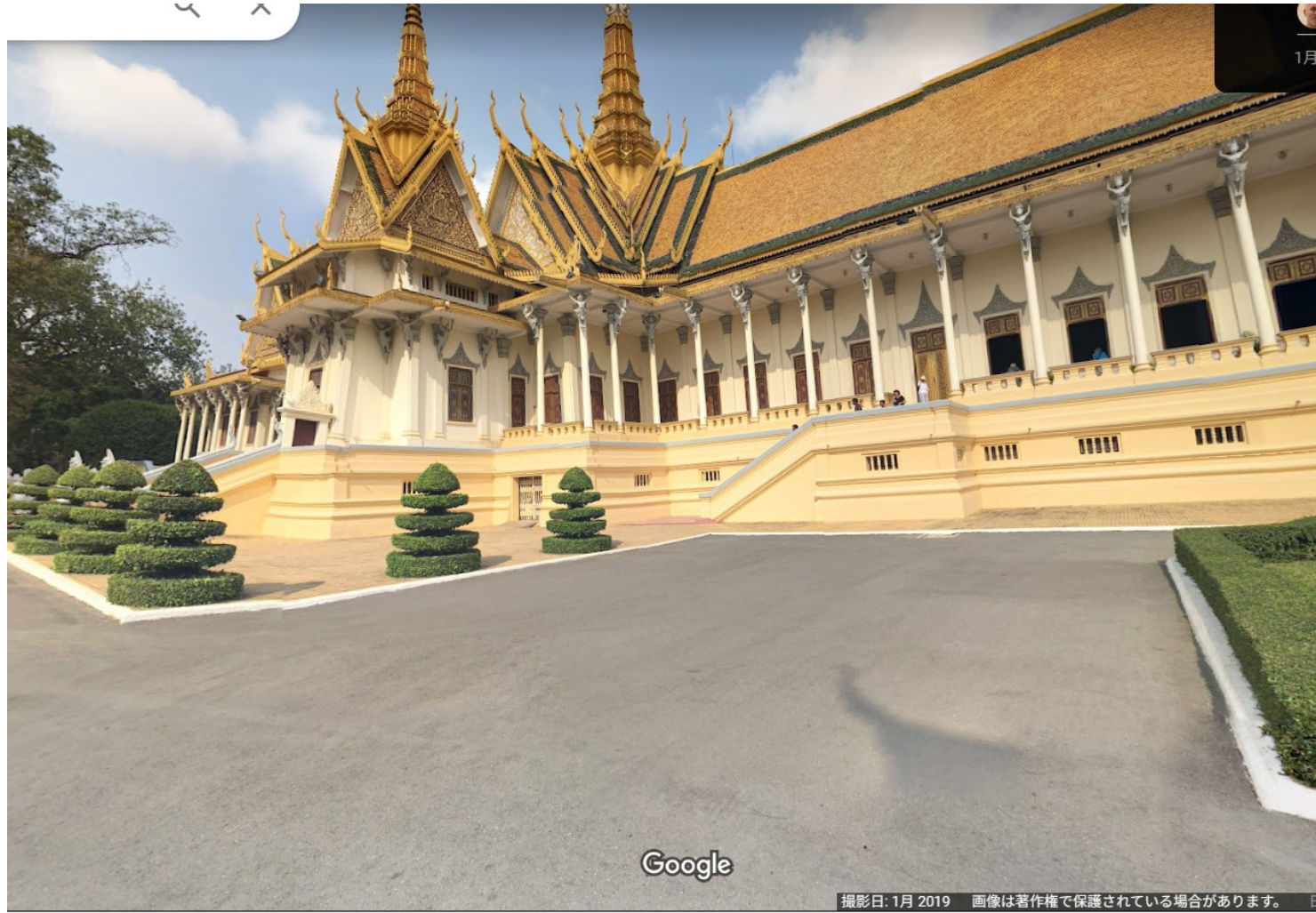
[王宮 - Google マップ](#)



美しい建物や庭園で知られ、カンボジアの歴史と文化を探索する絶好の場所。シルバールパゴダも訪れる価値があり。

[Morris Tsai - Google マップ](#)

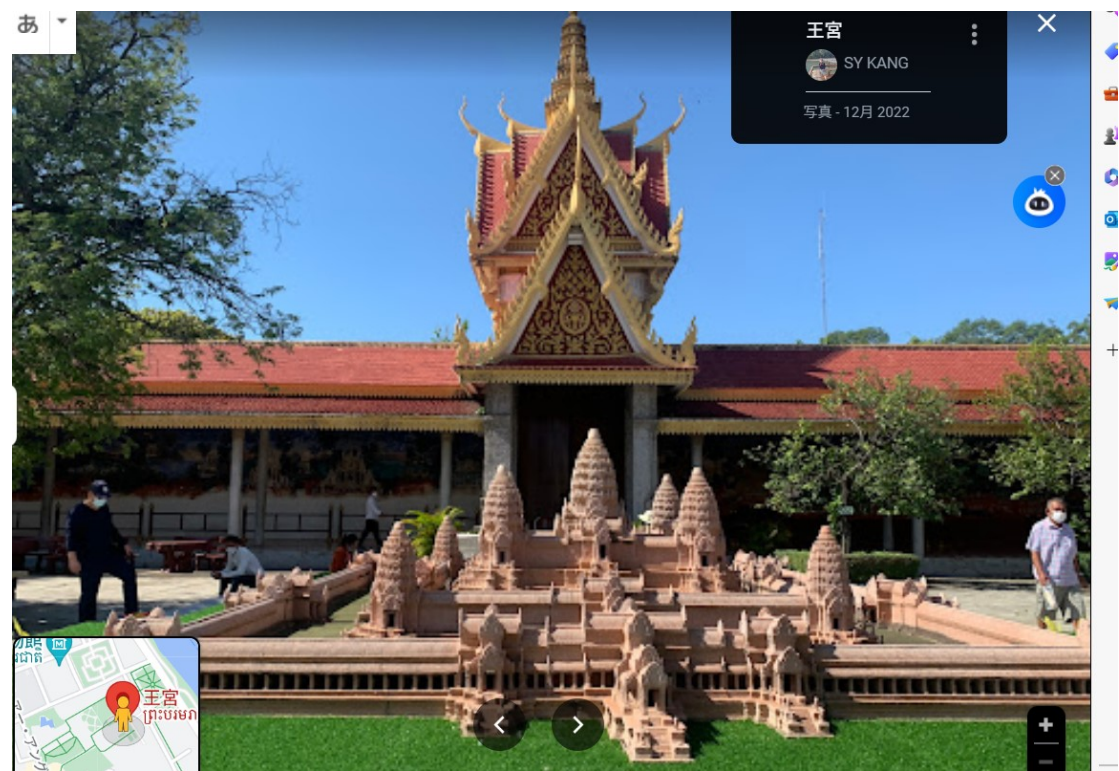
王宮



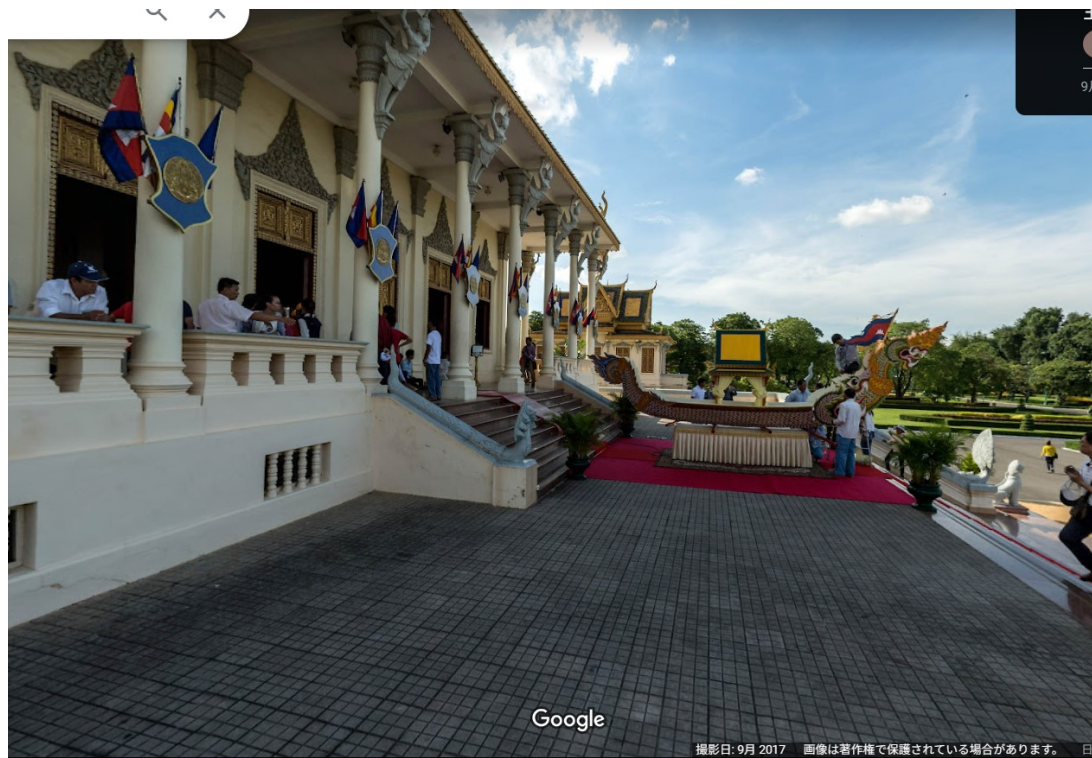
王宮 - Google マップ



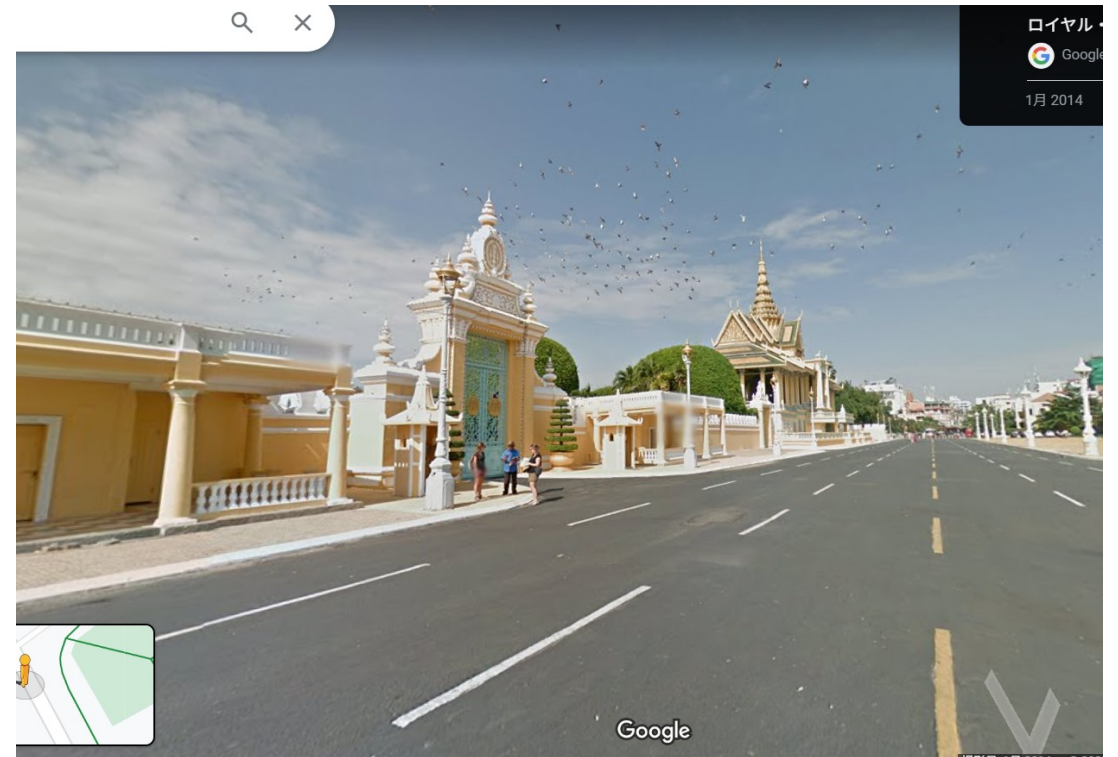
王宮 - Google マップ



王宮 - Google マップ



ロイヤル・パレス・パーク - Google マップ



王宮の前

[Srikanth Vandanapu - Google マップ](#)

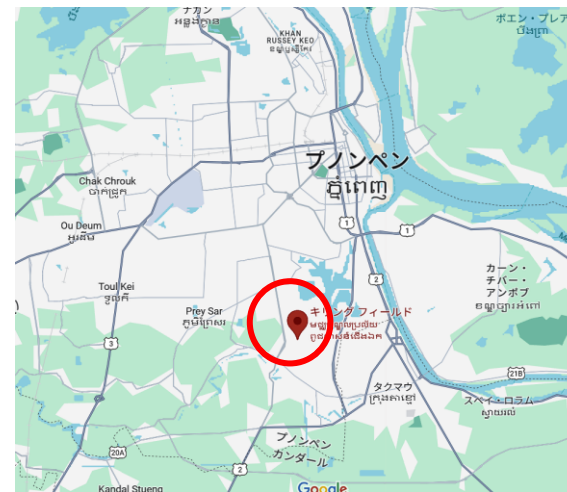


キリング フィールド



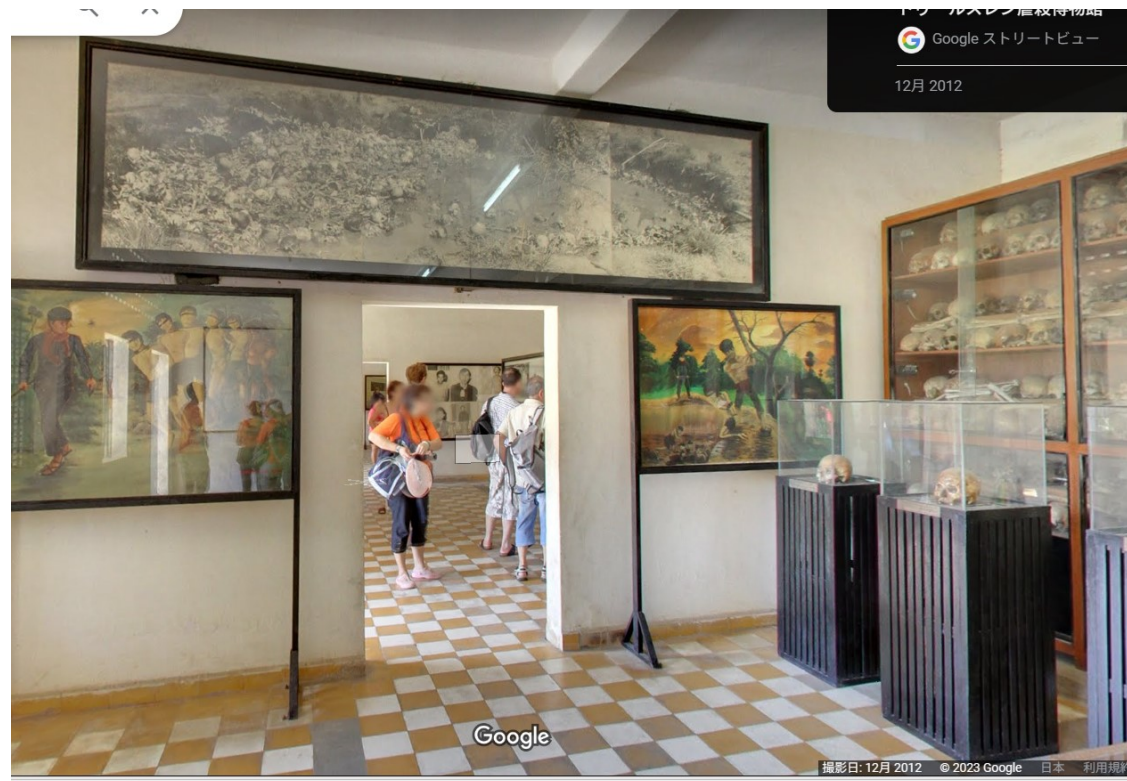
[キリング フィールド - Google マップ](#)

過去の暗黒時代クメール
ルージュ政権の犠牲者を
追悼するために建てられ
た博物館で、歴史と人権
について学ぶ場所です。



トゥールスレン虐殺博物館

トゥールスレン虐殺博物館 - Google マップ



独立記念塔

[独立記念塔 - Google
マップ](#)



この記念塔は、カンボジアがフランスからの独立を祝って建設された高さ20mの赤褐色の石造りの塔で、1958年に完成。カンボジアの独立に対する尊敬と感謝の印で、国の象徴としてプノンペンのシンボリック的存在である。カンボジアの紙幣の図案にも使われており、夜はライトアップされて美しく、周囲は公園になっている。

記念館は特に夕暮れ時にライトアップされた光景は美しい。

独立記念塔付近の公園

[សួនវិមានឯករាជ្យខាងកើត - Google](#)
[マップ](#)



撮影日: 9月 2018 画像は著作権で保護されている場合があります。 日本 利用規

独立記念塔の付近

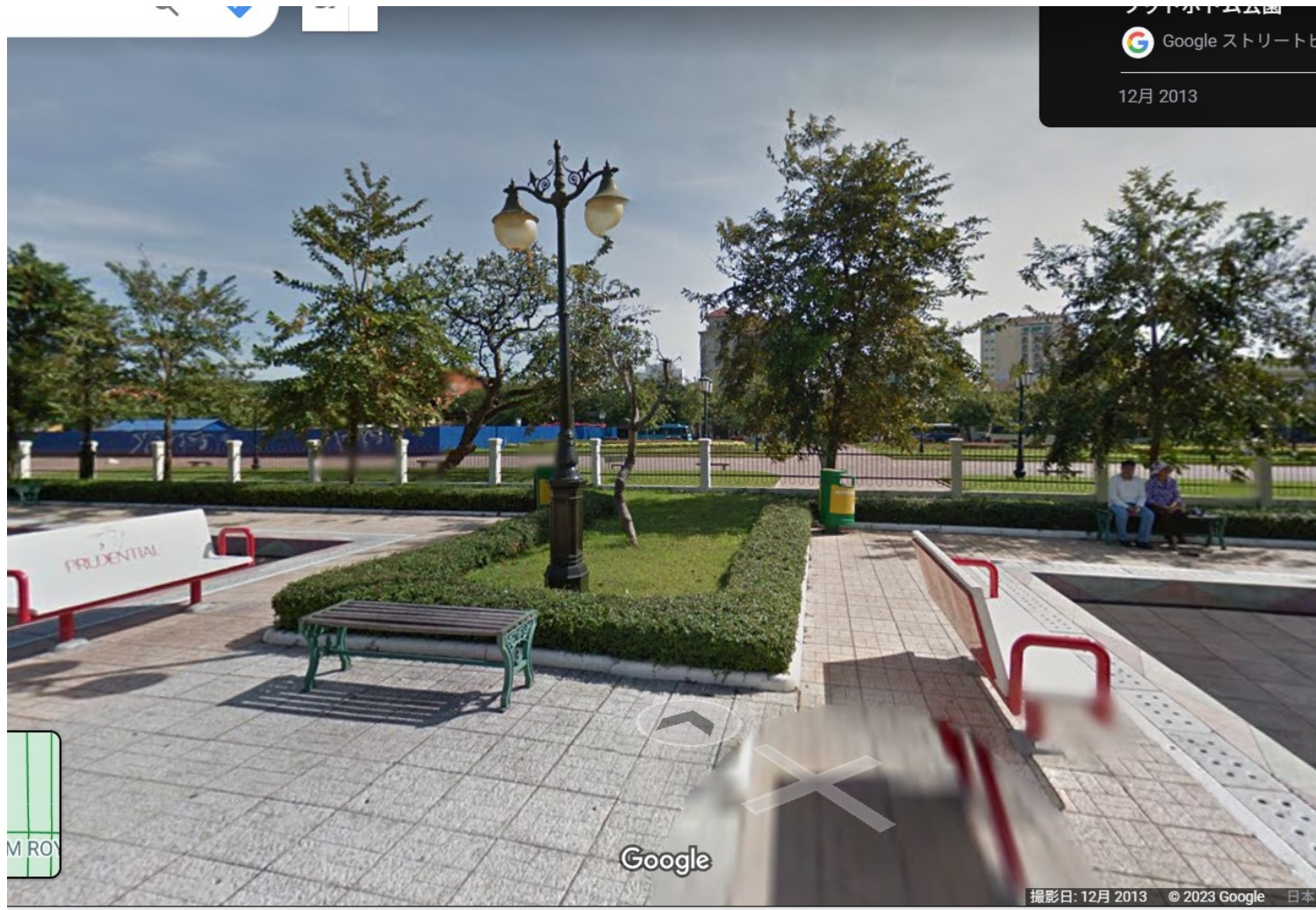
[プノンペン - Google マップ](#)



Google

撮影日: 8月 2014 © 2023 Google 日本 利用規約 プ

ワットボトム公園 - Google マップ



障害物の少ないスツキ
リとした広い公園。
緑の芝生と大きな噴水
と子ども遊園地がある、
広々とスツキリしてい
る。

[ワットボトム公園 - Google マップ](#)



ノロドムシアヌーク王像

[ノロドム・シアヌーク王像 - Google マップ](#)



高さ4.5メートル彫像で、2013年に元ノロドムシアヌーク王の記念して建てられた。ノロドムシアヌーク王が1953年にカンボジアをフランス保護領から解放した功績をたたえている。彫像の周囲にはきらびやかな建物が建てられ、夜はライトアップもされるフォトジェニックなスポット。周囲にも大きな通りがあるため、開放感があり散策にもぴったり。

蓮の花の寺院

[Botumvatey Pagoda -
Google マップ](#)



立派な建物、像、
祠堂、更に中に入
ると金ピカの素晴
らしい仏像、そし
て上を見ると素晴
らしい絵画がいく
つも張り詰めてあ
る天井画が・・・

シルバーパゴダ



シルバーパゴダはカンボジアの首都プノンペン市内にある仏教寺院です。王宮に隣接する豪華な寺院で、王宮とは中で繋がっているために共通チケットとして中に入ることができます。床に**5000枚**以上の銀のタイルが敷き詰められていることから、「銀寺」という意味でシルバーパゴダと呼ばれます。

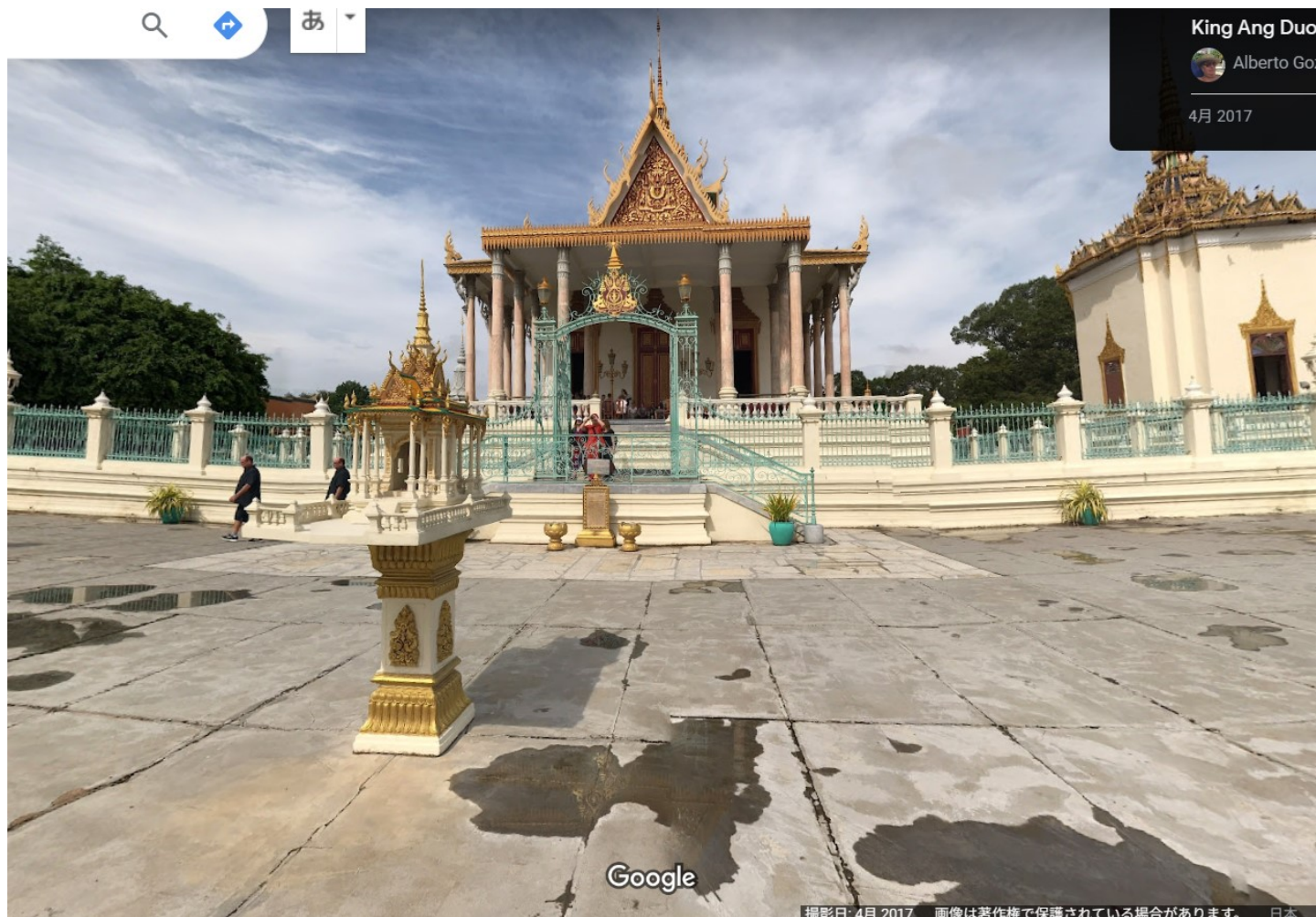
シルバーダゴダの内部

[シルバーパゴダ - Google マップ](#)

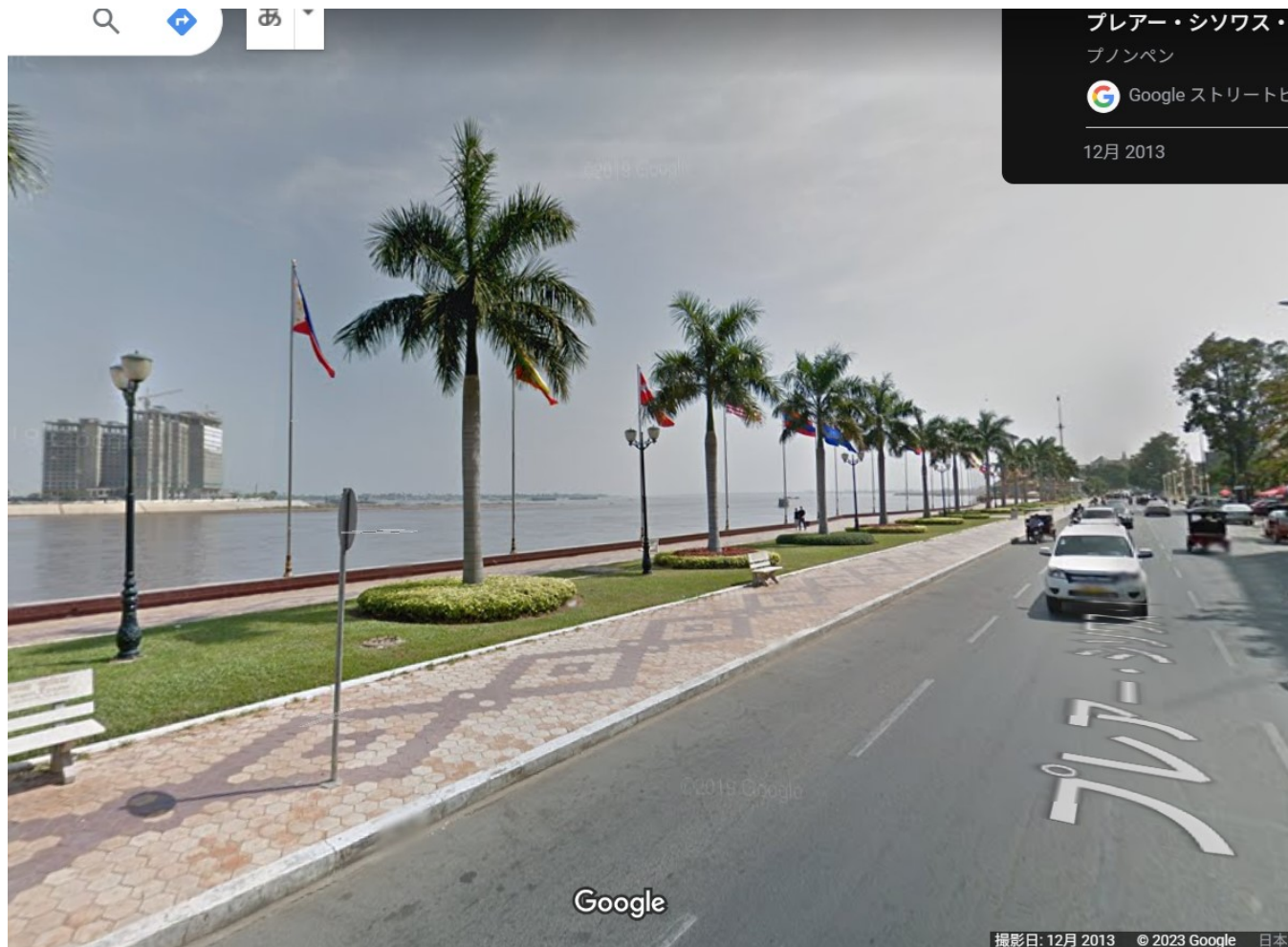


多くの画像が見られます。

King Ang Duong Stupa - Google マップ

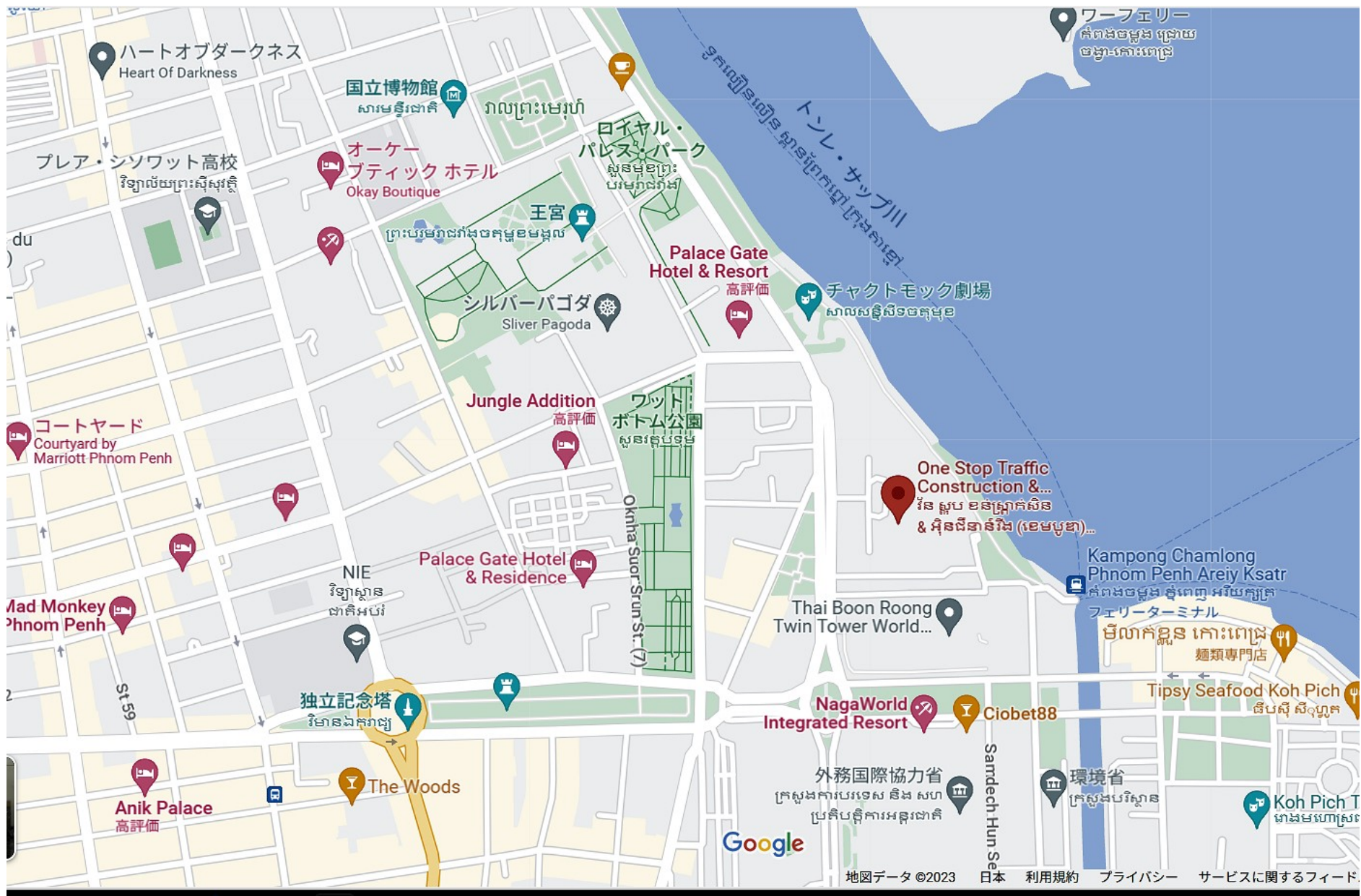


[プラー・シソワス・キー - Google マップ](#)



「Preah Sisowath Quay」は、メコン川沿いに位置する大通りで、フノンペンのリバーフロントに位置しています。

このエリアは、観光客や地元の人々にとって、散歩やジョギングを楽しむ場所として人気があります。また、川岸にはレストランやカフェ、バーなどが点在し、美しい夕暮れの風景を楽しむことができます。



アンコールトム

アンコール・トムとアンコール・ワットは、王宮と寺院という違いがあります。

カンボジアで一番有名なアンコール・ワットは1つの寺院の遺跡です。

一方、アンコール・トムはかつての王宮の遺跡で、歴代の王が少しずつ手を加えて、中には寺院を含むたくさんの建造物があります。

アンコールトム

[アンコール・トム | アン
コールの遺跡群 | 世界遺
産オンラインガイド
\(worldheritagesite.xyz\)](#)



アン
コール・ワツトの北に
ある城砦都市遺跡です。

アンコール・トムは 巨大な城郭都市



一辺が3kmの堀と、高さ8mの城壁に囲まれています。5つの城門があり、それぞれの城門に塔の形式を見ることができます。そして、その四面には観世音菩薩が彫られており、実に凝った装飾が施されています。



中央部に位置する「バイヨン」です。最初は大乗仏教の寺院でしたが、後にヒンドゥー教に改められたため、混合寺院の様相を呈しています。塔の四面に彫られた人面像は「クメールの微笑み」と呼ばれ、大きな見どころです

象のテラス、ライ王のテラス



閱兵式の際に用いられ、象の彫刻が彫られています。



「ライ王のテラス」は15世紀に発見された死神ヤマの像がその名の由来となりました。像が変色し苔むしていく様に、人々はハンセン病を連想したようです。

ピミアナカス



「ピミアナカス」は3層のピラミッド構造となっています。10世紀末に建造され、その後このような形のヒンドゥー教寺院として再建されました。他にも、12もの塔が連なる「プラサット・スウル・プラット」、「クリアン」、「プレア・ピトゥ」、「プリア・パリライ」など多くの建築物が残されています。

「クメールの微笑み」は高さ2mに達するものもありますが、表情が少しずつ違う印象を受けるらしいですよ。

カンボジアの世界遺産！アンコール・トム観光の見どころや見学方法、アクセスを解説 | NEWT（ニュート）



アンコールトムに立つ5つの門



アンコール・トムの四方は約3キロメートルの堀と高さ8メートルの赤土でできた城壁に囲まれています。その城壁には全部で5つの大門が設けられていて、観光客はそれぞれの大門を通して、中へ入ります。

大門はすべて石の塔で作られていて、その上部は巨大な四面仏です。



また、門の前には堀に架かる橋が作られ、欄干には阿修羅と神々の石像が並んでいます。

戦闘に勝利した兵士の道、勝利の門



アンコール・トム城壁の東側王宮の正面にあるのが、勝利の門です。バイヨン様式の門の上部には、クメール様式の仏塔に観世音菩薩の顔が彫刻されています。勝利の門の外側には乳海攪拌の像が並び、アンコール遺跡ならではの雰囲気を感じられますよ。

かつて戦闘に勝利した兵士たちの凱旋の道とされていたため、勝利の門という名前がつけられたといわれています。

死者の魂が出ていくと言われている死者の門



石の門はところどころ崩れていますが、かつては戦死した兵士の魂が戻ってきた場所や戦闘中亡くなった人たちの魂が出ていった場所ともいわれています。そのためか、今でも周囲は厳かな雰囲気漂います。

北大門



他の大門と同じように塔の上部には観世音菩薩の四面仏があり、門の外には頭が取れた阿修羅像と思われる石像が並んでいます。

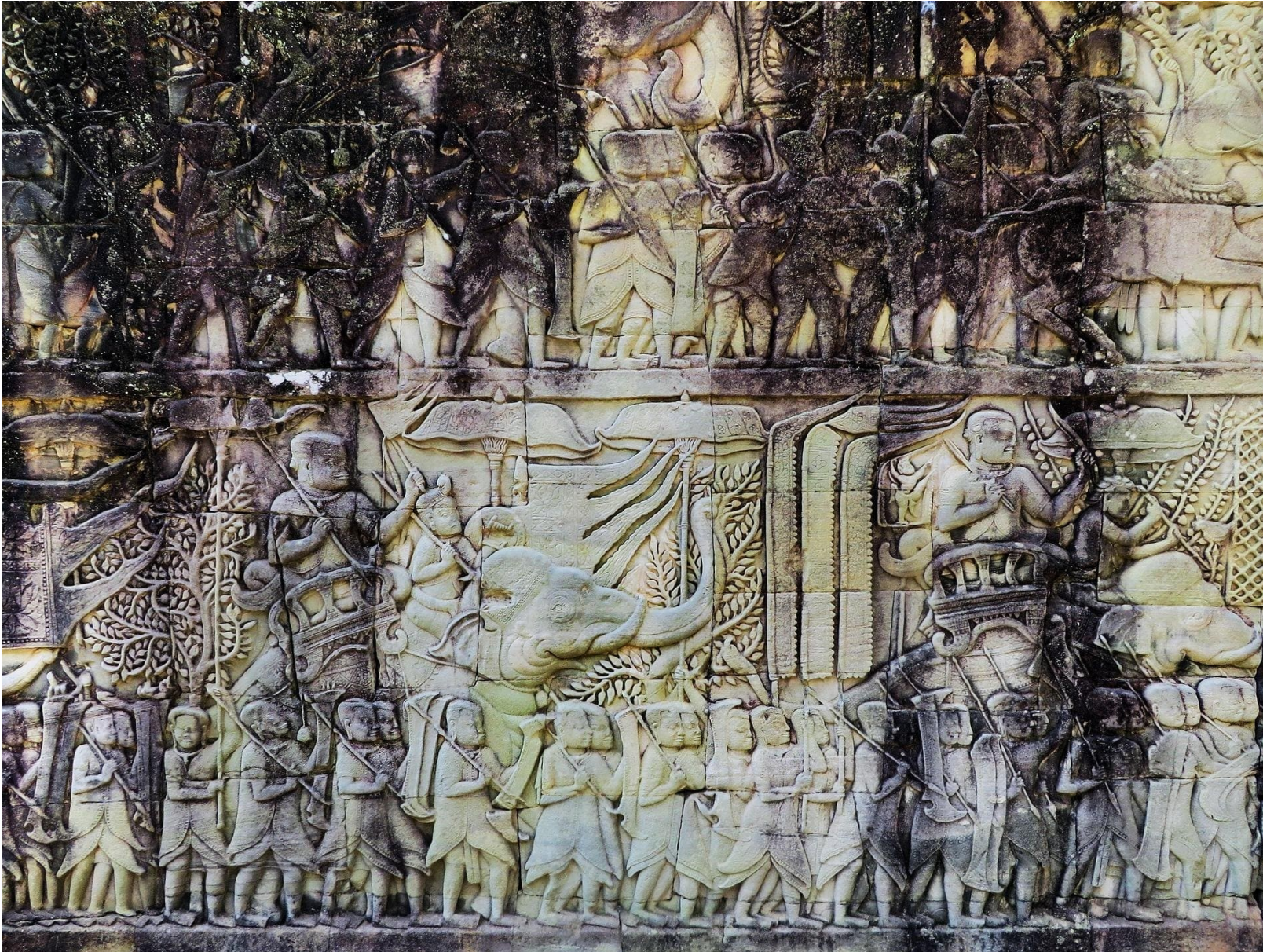
アンコール・トム観光の ハイライト！バイヨン寺院



寺院の中には49体もの
石塔が立ち並びます。

その45メートルもある
石塔の4面には慈愛に満
ちた仏様の顔が彫刻さ
れていて、これらはク
メールの微笑と呼ばれ
る尊顔と言われていま
す。尊顔は顔の輪郭の
違いに基づき、デー
ヴァタイプ、デヴァ
タータイプ、アスラタ
タイプの3つのタイプに分
けられています。

バイヨン寺院のレリーフ



一つひとつの
レリーフをよく
眺めていく
と、戦争や宮
廷の様子、当
時の人々の日
常生活が描か
れています

象のテラス



[カンボジアの世界遺産！アンコール・トム観光の見どころや見学方法、アクセスを解説 | NEWT（ニュート）](#)

象のテラスは12世紀末に築かれています。公式儀式の閲兵席や王の接見所の基壇、凱旋などに使用されていた重要な場所です。

中央と両端に5つのバルコニーがあり、その階段の両端にはゾウが蓮の花を採取する姿がそのまま保存されています。また、ゾウの隣にはインド神話に出てくる人間の体にワシの頭と翼を持つガルーダやゾウの鼻を持つ獅子のガジャシンハのレリーフなどがあります。

シアヌークビル 美しいビーチとリゾート地

[旅好きの間で話題のカンボジアのビーチリゾート「シアヌークビル」って？ - Expedia JP Stories](#)



ロン島



シアヌークビルは、カンボジア南部のタイランド湾に突き出た半島に位置し、近年まで手付かずだったため、とびきり綺麗なビーチが残っています。

【カンボジア旅行】 1年ぶりにシアヌークビルへ行って
きた | VLOG - YouTube



2023/10/25 (水)
インターネット世界旅行

カンボジア

カンボジアは、美しい寺院、歴史的な遺産、美しいビーチ、そして文化的な魅力を提供する東南アジアの国

終わり

吉岡 芳夫